

支援センター名	仲南町子ども支援体験活動ボランティアセンター		
所在地	〒769-0313	香川県仲多度郡仲南町大字十郷字生間415番地1	
連絡先	Tel	0877-77-2882	Fax 0877-77-2883

事業の概要とポイント

町内の小学4年生～6年生の希望者が自然豊かな山間のふるさと研修館に1週間宿泊し、通学しながら炊事・洗濯・清掃などの生活体験を行った。自分のことは自分で行き、あいさつ、宿題などの生活習慣をしっかりと指導し、家庭との連絡はすべて手紙で行った。

週末の休みには、自然観察、竹箸づくり、手打ちうどんづくり、バーベキュー、キャンプファイヤーなどの楽しい行事も行った。また、すべてをボランティアの実行委員会が中心となって行った。

関係した学校・団体等の名称

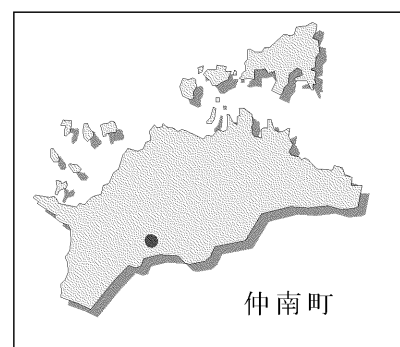
仲南町通学合宿実行委員会、仲南東小学校、仲南西小学校、仲南北小学校、町内ボランティア

地域の現況・特色

活動対象地域の人口 仲南町 4,610人

仲南町は、香川県の西南部に位置し、東西11.25km、南北10.20kmで北部を除く東・南・西部が山に囲まれている。町の約75%が山林という緑豊かな純農山村地域である。古くから農林業に力を入れてきたが、多角的経営への努力もありタケノコ・果物・酪農生産の拡大や茶園の造成なども進められてきた。

また、国指定の重要無形民俗文化財「綾子踊り」や飛行原理着想の「二宮忠八」飛行公園、塩入温泉、満濃池森林公園などの施設もある。町民の教育に対する関心も高く、各種ボランティア活動の活性化など町民の社会参加に対する意識も向上している。しかし、人口の減少、高齢化、少子化はますます深刻化しており、現在、合併問題も焦眉の課題となっている。そのため本町では「自然との共生、心豊かな活力ある町づくり」をめざして第4次の仲南町総合計画を策定している。



企画から活動までの経緯

※本事業は平成14年度から始まり、16年度で第4回目の実施となる。

平成16年3月17日 前年度の反省をもとに実行委員会を開き、実施要項の検討を行った。

4月8日 地域の婦人会、子ども会育成連絡協議会に調理や生活指導を受け持つことができるよう協力を依頼した。

4月13日 学校で児童にセンターでつくったチラシを配付して、参加者を募った。また、町内全戸に広報を通じて、一般ボランティアの募集を行った。（5月7日締め切り）

5月21日 実施日程や活動内容について、支援センターで、通学合宿実行委員や教育委員会職員を交えて話し合いをもった。また、児童の理解のためにカウンセリング研修も行った。

5月30日 親子事前説明会をひらき、参加者や保護者に具体的な説明と協力をもとめた。

6月1日 実施にあたり、救急救命研修、具体的な生活の支援や食事献立等について最終打ち合わせを行った。

6月6日～6月13日

仲南町ふるさと研修館で7泊8日の通学合宿を実施した。児童の参加者は33名。実施に当たっては、通学合宿実行委員12名、ボランティア協力者19名、教育委員会職員10名が参加した。

実施中は、毎晩、支援者の情報交換やミーティングを行った。

6月23日 合宿終了後、参加者に感想文やアンケートを依頼した。

7月29日 通学合宿実行委員会で、反省会を開き、次年度に生かすことを確認した。

事例の展開内容（特色など）

少子化や都市化の進行、さらに核家族化、共働きの家庭の増加など子どもを取り巻く環境は厳しいものがある。そのような中で子どもの生活や意識を見直し、子どもたちが豊かな人間性を培い、生きる力を身につけるための機会を少しでも提供できないかと考えた。そこで生活体験活動や自然体験活動を通学合宿という形をとりながら実施することにした。

実施にあたり、センターが町教育委員会と協力して地域のボランティアや社会教育関係団体、PTAなどに呼びかけ実行委員会組織をつくり、合宿中の生活支援や食事支援を行った。

この通学合宿は、町内3小学校の希望者（4・5・6年生）が1週間通学しながら、ふるさと研修館で合宿生活をする。（本年度は、33名が参加）ふるさと研修館では、炊事、洗濯、掃除、身支度、宿題等の生活体験を繰り返した。また、学年の縦割りグループを編成し異年齢集団での活動や日常の家庭ではできない自然体験活動などを組み入れた。

企画・活動する上でのポイント、留意点など

山間の研修館での宿泊のため、病院、消防署、警察との事前連絡が大切である。警察官の夜間パトロールなども実施していただいた。また、学校との連携では、毎日の下校時刻や集合場所などの確認、合宿でも可能な宿題の内容、健康状態のチェック、家に帰りたくなる児童への心の支えなどに注意をはらった。先生方も夜に研修館を訪問して子どもに声をかけていた。

合宿を成功させるためにはボランティアの協力が不可欠であり、関係団体との事前打ち合わせや合宿中のミーティング時間の確保などが必要である。また、ボランティアスタッフには、児童の理解のためのカウンセリング的な研修や救急救命講習などできるだけ事前準備を行った。

今後の実施に向けての参考のため、児童の感想文や保護者へアンケートによる意識調査も行った。

評 価

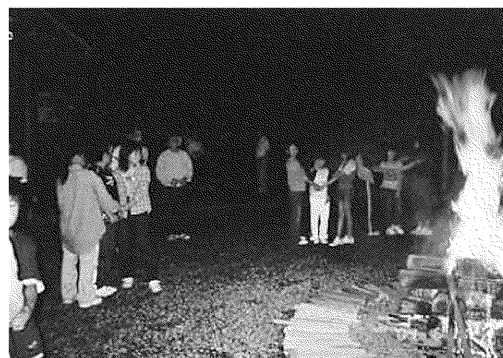
家族と離れての1週間の合宿生活は、子どもたちにとって貴重な体験となった。家庭に戻ってからも以前に比べてよく手伝いをするようになり家族への感謝や思いやりのことばが出るなど精神的にひとまわり成長した子どもが多かった。また、いっしょに過ごしたボランティアの人たちとの交流も深まり、地域であいさつを交わしたり、手紙を出したりする子どももいる。1週間の合宿が子ども一人ひとりの成長の糧になっており、今後も、この合宿を継続していきたい。

ただ、参加者の広がりがあまりなく2回～3回参加する子もいれば、まったく参加しない子もいる。我々としては、小学校卒業までにどの子も1度は通学合宿を経験してもらいたいと願っており、参加募集の方法等を検討していきたい。

活動風景



「自然の中で楽しく遊ぶ」



「最後の夜 キャンプファイヤー」

平成16年度 第4回仲南町通学合宿日程表

	6/6 (日)	7(月)~11(金)	12(土)	13(日)	
6:00		起床、洗面、朝食づくり 朝食、後片づけ	起床、洗面、 朝食づくり	起床、洗面、 朝食づくり	
7:00		登校準備	朝食	朝食	
7:25		登校(バス)	後片づけ	後片づけ	
8:00		学 校 生 活		自然散策	清掃
9:00				竹箸食器づくり	自由時間
10:00				うどんづくり	別れの集い
11:00				閉会式	
12:00	受付(ふるさと研修館 入り口)	水曜日の下校は15:30 (諸活動)	昼食(うどん)	解散	
13:00	対面式・オリエンテー ション		キャンプファイヤーオ リエンテーション		
14:00	仲南の森づくり		キャンプファイヤー準 備		
15:00	点呼・健康観察		スタンプ打ち合わせ(班 活動)		
16:00	班別研修		バーベキュー		
16:30	清掃・洗濯 夕食づくり		自由時間		
17:00	夕食	下校(バス)	入浴		
18:00		夕食づくり(食事当番)			
19:00		清掃・洗濯・自由時間			
19:10		夕食			
19:00	入浴	入浴(19:30)	キャンプファイヤー		
19:10		宿題・手紙・英語学習・ 諸活動等			
20:00					
21:30	班別ミーティング	班別ミーティング	班別ミーティング		
21:50	翌日の準備 就寝準備	翌日の準備確認 就寝準備	就寝準備		
22:00	就寝	就寝	就寝		

執筆者職・氏名： 仲南町 派遣社会教育主事 石川裕之